

エコのことなら僕にお任せ！



「とうかい環境村民会議」だより

Vol.22

環境活動を通じて、持続可能な社会の実現を目指す“エコレンジャー”——それが私たち「とうかい環境村民会議」です！ 私たちの活動をシリーズで紹介していきます。

【問い合わせ】環境政策課環境計画・緑化推進担当(☎282-1711 内線1454)



住民参加で整備が進む「押延ため池いこいの森」

自然共生社会部会

押延ため池周辺は、珍しいヘビのヒバカリや、貴重なムカシヤンマが生息する、豊かな自然に恵まれた場所です。

自然共生社会部会では、平成24年度にこの地を重点整備地域に定め、平成25年度から、以前より同地域の整備活動を進めていた「自然のみどりを守る会」と協働で、地域の方を交えながら下刈り、ごみ拾い、竹の伐採などの整備を行ってきました。

1月23日の活動にも、押延区自治会の皆さんや、初めて参加した企業関係の皆さんや小学生など、たくさんの方にご参加いただき、シノやぶに覆われた山林の下刈り、ごみの回収、道路の落葉の除去などの作業に汗を流しました。

今後は、遊歩道やベンチ、見晴台等を作り、林の中をゆっくり散歩できるようにする予定です。苗木を育てて植樹祭をするなどのイベントも考えており、今回の参加者にもドングリとポットを配布し、育ててもらうことにしました。

皆さんもぜひ一度、すっきりした「押延ため池いこいの森」を散歩してみませんか？ そして、私たちと一緒に村民の憩いの場を作りましょう！

なお、今後の活動予定等は、とうかい環境村民会議ホームページ(<http://www.toukai-kankyou-sonminkaigi.com>)をご覧ください。



整備活動に参加した皆さん(上)と、作業の様子(下)



ドングリさん、大きく育つかな♪



とうかい環境村民会議ホームページQRコード

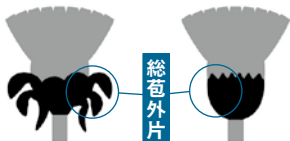
みんなで考えよう 東海村の外来種-1

■セイヨウタンポポ(キク科タンポポ属)

村の野原や道端に見られるタンポポは、ほとんどが「要注外来生物」に指定されているセイヨウタンポポです。

タンポポの見分け方

セイヨウタンポポ カントウタンポポ



▼セイヨウタンポポの総苞外片は、下に向かって反り返ります。

セイヨウタンポポはヨーロッパから渡って来たとき、繁殖力が強く、在来タンポポに代わって分布を広げています。在来のカントウタンポポは、村松・船場・照沼地区でわずかに見られる程度になってきています。セイヨウタンポポとは、左図のように総苞外片が反り返っているかどうかで区別できます。

タンポポの花の総苞外片の反りを観察して、カントウタンポポを見つけたら大切に守っていきましょう。

